

ひとにやさしい

まちづくり ニュース VOL.13 (H30.3)

福岡県ひとにやさしいまちづくり協議会 発行

2020年に日本で開催される東京オリンピック・パラリンピック。国外からも多くの人を訪れることから、交通施設や公共空間等でバリアフリー化が進められています。そこで今回は、障がいのある方や外国人等に配慮するため平成29年度に改正された「ピクトグラム」を身近に感じることのできるバリアフリーのひとつとして紹介します！



1. いろいろなピクトグラム

ピクトグラム（案内用図記号）は、トイレやエレベーター、駅の乗り換えの案内などを文字でなくひと目見てわかるように案内記号で示しているものです。日本では、1964年の東京オリンピック開催時に外国語によるコミュニケーションをとることが難しかった当時の日本人と外国人の間を取り持つために開発されたのが始まりです。

公共・一般施設



交通施設



注意



禁止



安全



商業施設



観光・文化・スポーツ施設



たくさんの種類があるね！まちを歩くときに探してみよう！



上記で紹介しているものは「JIS規格」と言って日本の国家規格で定められたものだよ！



★ピクトグラムが改正されました！★

日本では平成13年にJIS（日本工業規格）規格として統一された案内用図記号を使用していましたが、平成29年7月、日本人だけでなく外国人観光客にもより分かりやすい案内用図記号とするため、JIS（日本工業規格）について、ISO（国際規格）との整合を図る観点から7種類の案内用図記号を変更し、15種類の新しい案内用図記号及び「ヘルプマーク」が追加されました。

外国人には、温かい料理を出す施設と解釈される場合もあったみたい！

変更例（選択制）
※表示者が適切な方を選択して表示
温泉
↓
温泉 (ISO)

新しい案内用図記号の例
無線LAN
海外発行カード対応ATM

ヘルプマーク

出典：経済産業省

※ヘルプマークとは：援助や配慮を必要としている方が、身につけることで、周囲の方に配慮を必要としているのを知らせることができる表示

2. ひとにやさしい建築物に関するシンボルマーク

不特定多数の人が利用する公共性の高い施設をだれもが安全で利用しやすいものにするため、法や自治体の条例において整備対象施設や整備基準を定めています。整備基準に適合した建築物は下記のようなシンボルマークが記された適合証が交付されます。みなさんに是非知っていただくため、改めてシンボルマークを紹介します。

バリアフリー法



高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）による認定をうけた建築物に表示できるマークです。重なり合う2つの楕円は利用する人たちのふれあいの輪が重なってできる、温かなハートを表現しています。

福岡県福祉のまちづくり条例



福岡県福祉のまちづくり条例の整備基準または望ましい基準に適合した建築物に表示されるマークです。このマークは、空を表すハートと街の一筆描きによるデザインで、ハートに包まれた「ふくおか」をみんなの手でという願いが込められています。

福岡市福祉のまちづくり条例



福岡市福祉のまちづくり条例の整備基準または望ましい基準に適合した建築物に表示されるマークです。福岡県内の市町村では、福岡市が独自に福祉のまちづくり条例を施行しているため、福岡市内で整備される施設については、県条例でなく市の条例の基準が適用されます。



福岡県福祉のまちづくり条例適合証の写真

裏面では、県営筑後広域公園を紹介するよ！オセアニアオリンピック委員会の代表団がプールと体育館の視察にきたので、もしかしたら事前キャンプの練習場として使われるかもしれないね。



3. エコトンと行く、県営筑後広域公園



福岡県営の「筑後広域公園」をエコトンと紹介します。各施設において、バリアフリー整備がされており、おもて面で紹介したピクトグラムも使われています。障がい者、高齢者、親子連れなど多くの人が公園で生き生きとスポーツやレクリエーション活動に親しんでいます。

体育館



注意喚起床材 階段の上端をお知らせ



手すり 1階から2階を点字表示

ふくおか・まごころ駐車場

障がい者や高齢者など、車の乗り降りや移動に配慮が必要な方が公共施設や商業施設などの駐車場を安全かつ安心して利用できるように支援する制度です。

屋外



駐車場 車いす使用者用



水飲み場 親子で飲めるように高さが調整されている



車いす使用者用客室



スロープ 出入口までの段差解消



室内 転回できるよう十分な空間を確保



浴室出入口 段差がなく、3枚引戸による幅広い出入口

プール



点字ブロック 視覚障害者を出入口まで誘導（道と点字ブロックに明度差をつけて識別しやすいものに）



観覧席 車いす使用者の客席（十分なスペースを確保）



標示 見やすいサイン



多目的トイレ L型手すりやオストメイト設備を完備



皆さまの街にも障がい者、高齢者、子ども等、様々な人たちが利用しやすいように思いが込められたり、色々なメッセージが込められたりしたのがあると思います。是非、日ごろの生活の中で探してみてください。